

だて復興・再生 ニュース

伊達市

第 3 号

[編集・発行] 伊達市放射能対策課 〒960-0692 伊達市保原町字舟橋180 本庁舎3階 ☎575-1003

●平成25年6月27日発行

Cエリアの一斉除染の開始について

Cエリアはその対象が約1万5千世帯と市の約7割を占めることもあり、その除染について待ち望まれていました。市民の皆さんのご協力により、ほぼ全ての町内会で一次モニタリングが終わり、今般ようやく業務発注となりました。これでCエリア全域での除染が開始されることとなります。

高線量のAエリアから始まった除染は、これまでの経験を通じて、高線量の地域は除染による低減効果が高いものの、低線量地域では効果が低いことが分かってきました。

また、当市では昨年6月から全市民がガラスバッジを着けて実測しており、空間線量が1時間当たり概ね0.5マイクロシーベルト程度の世帯であっても年間1ミリシーベルトを超えないことが分かってきました。除染の目標である年間1ミリシーベルトは、国の計算によると空間線量では1時間当たり0.23マイクロシーベルトとされてきましたが、この数値は、屋外に8時間、遮へい効果を6割とした屋内に16時間いると仮定して計算されたものであり、実際の生活では車での移動が多いなど、生活圏内で放射線が及ぼす外部被ばくへの影響は計算値よりもずっと少ないことが明らかとなってきたのです。

したがって、年間1ミリシーベルトを目指すに当たり、Cエリアにおいては全面除染の必要はなく、いわゆるホットスポットを除去すれば大丈夫ということが分かってきました。

ですから、家の周りなどの生活圏の線量をきちんと把握し(モニタリング)、ホットスポットがどこにあるかを承知して生活するとともに、内部被ばく対策として食物の安全性にも気を配るように努めることによって安全は確保されるのです。

今後、受注した業者側の体制が整い次第、二次モニタリング並びにホットスポットの除染にとりかかることとなりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

今年中に市内全域での生活圏除染を終えるよう、請負業者の皆さんと共に市民みんなで頑張っていきましょう。

伊達市長 仁志田 昇司

だて
復興・再生
最前線

～コラボレーション(協働)によって新興を～ 6次産業化をテーマに講演会開催

6月10日に伊達市役所本庁舎で、株式会社舞台ファーム代表取締役の針生信夫さんによる、6次産業化と地域産業の活性化をテーマにした講演会が開催されました。6次産業化とは農産物を生産するだけでなく、加工し流通・販売まで手がける経営手法で、株式会社舞台ファームは、6次産業化をおこなう、東北有数の農業生産法人です。講演会の中で、



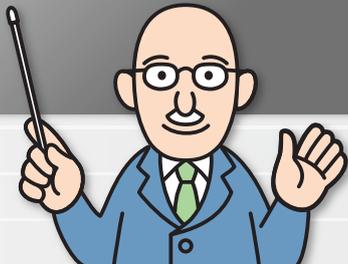
針生信夫さん
仙台市出身。農家の15代目。1次産業の弱者構造を打開すべく、コンビニエンスストア等でのビジネスルート等を独自開拓。

り新しい技術と協働することによって、イノベーション(経営革新)を起こすことができる」と力強く話しました。



講演会の様子

放射線の安全の基準は？



市政アドバイザー
多田 順一郎先生

○プロフィール

1951年2月10日生まれ(東京都)

1974年 東京教育大学理学部(物理)卒業

2007年～ NPO法人放射線安全フォーラム理事

2012年10月～ 伊達市放射能対策課の市政アドバイザーとして委嘱

医療関係で放射線に携わってきた経験を生かし、アドバイスをいただいています。

○著書

「放射線物理学」オーム社(2nd ed. 2008)

「放射線放射能がよく分かる本」オーム社(2011)

原発事故以来、政府や科学者の示す基準は、二転三転しました。いち早く飯舘村などで説明会をなさった長崎大学の山下先生は、原爆の放射線を受けた人々に関する60年を超える追跡調査の結果に基づいて「100mSv(ミリシーベルト)以下では影響を心配しなくてよい」と人々を安心させました。ところが、それを追いかけるように、原子力安全委員会が一年間に20mSvを超えるおそれのある地域を計画的避難区域に指定したため、人々は山下先生を疑うようになりました。そして、政府の参与を務めていた人物が“涙の会見”をした影響で、学校の基準が一年間に1mSvになり、それが環境省の最終的な除染目標にもなってしまいました。これほどの混乱をさらしては、もう誰も政府や科学者の言葉を信じなくなっても仕方ないでしょう。しかも、インターネットや週刊誌などからは、放射線の影響への不安をあおる情報が、洪水のように溢れ出ました。一体私たちは、何を信じたらよいのでしょうか。

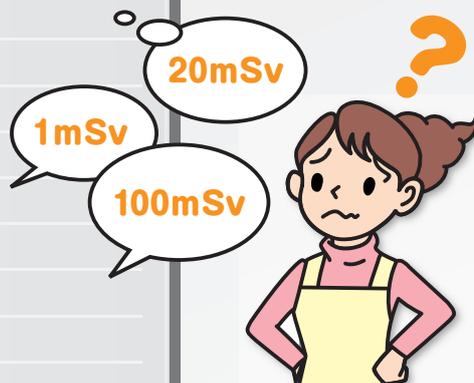
重要なことは、“誰の話信じるか”ではなく、どの話が一番合理的かを自分で判断することです。日本人の3人に1人くらいは様々な原因のがんで亡くなるので、広島・長崎の健康追跡調査では、100mSv以下の原爆放射線を受けた人々のがんが本当に増えたかは、確認することができませんでした。

また、世の中には、病院の放射線技師さんなど、放射線を扱うことを職業にしている人たちがいて、五年間で100mSvを超える放射線を受けないう管理されています。この作業基準は、定年まで放射線を扱う仕事を続けても健康を害しないよう定められたものです。法律は、道路の速度制限のように、安全に大きな余裕のある制限をします。ですから一年間

に20mSvという値は、“十分に安全を見込んだ作業基準”なのです。

なお、一年間に1mSvという値は、放射線を扱う施設を作るとき、その施設が周辺に及ぼす影響を規制する“設置基準”で、本来、人に対する安全基準ではありません。

市政アドバイザー
多田 順一郎



自主的避難等対象区域に係る損害賠償請求について

伊達市は、旧特定避難勧奨地点を除く市内全域が自主的避難等対象区域となっており、各世帯に東京電力(株)から2回(平成24年3月、12月)、損害賠償請求書が郵送されています。平成23年3月11日以前から市内に住んでいる人は避難していなくても請求できますので、まだ請求していない人はお手元の請求書に必要事項を記入し、急いで請求してください。請求書を無くした場合は、下記コールセンターに電話して請求書を取り寄せてください。

東京電力(株)福島原子力補償相談室コールセンター ☎0120-993-724 (受付時間/午前9時から午後9時)

全市民対象の1年間のガラスバッジ測定が終了 『7月以降も一部継続実施』



1年間にわたるガラスバッジ測定に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後、年間外部被ばく線量(実測値)を集計し、8月にお知らせいたします。

●7月以降の取り組みについて

除染A・Bエリア全員、子どもや妊婦、また、除染Cエリアから無作為抽出した人についても、引き続き測定をお願いすることとなりました。

なお、測定を希望する旨申し込んだ人についても、測定を継続していきます。

測定対象となった人には、6月下旬からガラスバッジを順次発送しますので、ご協力をお願いします。

6月末で測定を終えたガラスバッジは返送用封筒が届いたら早めに返送してください。

全市民対象『行動実態調査』にご協力ください

この調査は、個人の職業や生活行動から、外部被ばく線量との関係等を検証し、被ばく線量の低減につながる情報等を、みなさんへお知らせしていくことを目的としています。

6月下旬から順次ガラスバッジの配布(終了)の案内と併せて、『行動実態調査票』を送付しますので、記入し測定終了したガラスバッジと一緒に返送いただくようお願いいたします。

問 健康福祉部 健康推進課 外部被ばく検査事業担当 ☎573-0538

ホールボディカウンタ(内部被ばく検査)の受検案内

2回目の内部被ばく検査を行っています。7月～9月は、下記の地区の人を案内する予定です。平日のみの日時指定となりますが、土曜日の午前中も一部実施していますので、日時の変更を希望する人はお問い合わせください。

なお、小中学生については、各小中学校を通して検査します。

検査実施機関	地域	対象地区	検査案内予定
中野病院	保原	上保原	案内中 ～ 7月下旬
		大田	7月下旬 ～ 8月下旬
		保原	9月上旬 ～
梁川病院	梁川	梁川	案内中 ～ 9月下旬
福島県労働保健センター(福島市)	霊山	掛田	案内中 ～ 7月下旬
	月舘	布川、糠田、下手度、上手度、月舘	7月下旬 ～ 8月下旬
	霊山	石戸	8月下旬 ～ 9月下旬

※その他の地区については、日程が決まり次第お知らせします。

問 健康福祉部健康推進課 内部被ばく検査受付専用ダイヤル ☎575-1153

伊達放射能健康相談窓口を開設

「体調が不安定」「イライラして怒ってしまう」「食べ物に神経質になってしまう」など放射能に関するどんなことでも気軽に相談してください。

月日	時間	場所
7月 2日(火)	9:30～ 11:30	保原保健センター ◎予約制となりますので、 事前に申し込んでください。
7月 9日(火)		
7月16日(火)		

- 相談員：放射線安全フォーラム会員 半谷輝己さん
- その他：医学的なことは医師の相談会に案内する場合があります。

問 健康福祉部 健康推進課 ☎575-1116

生活圏除染業務の進捗について

(6月15日現在)

A エリア

工区	対象戸数	除染済戸数	進捗率(%)
靈山町小国	425	425	100.00
靈山町石田東部・月舘町東部	118	113	95.76
保原町富成	449	408	90.87

工区	対象戸数	除染済戸数	進捗率(%)
保原町柱沢	545	545	100.00
靈山町掛田	1,018	1,018	100.00
計	2,555	2,509	98.20

B エリア

- [仮置場]
- : 確保済
- [業務発注]
- : 発注済
- [除染作業]
- : 終了
- ▲: 作業中

地域	地区	世帯数	仮置場			業務発注	除染作業
			確保	箇所数	面積(m ²)		
靈山	中川	157	●	1	3,017	●	●
	山戸田(1工区)	82	●	5	11,517	●	▲
	山戸田(2工区)	42					
	山野川	124	●	1	4,736	●	▲
	石田(1工区)	120				●	▲
	石田(2工区)	120	●	1	8,270	●	
	石田(3工区)	79				●	
月舘	月舘(1工区)	102	●	1	7,214	●	▲
	月舘(2工区)	111				●	▲
	月舘(3工区)	57	●	1	9,355	●	▲
	御代田(1工区)	105	●	2	8,974	●	▲
	御代田(2工区)	122	●	2	7,424	●	▲
	御代田(3工区)	70	●	3	1,890	●	
	御代田(4工区)	62					
	糠田(1工区)	84	●	1	9,161	●	▲
	糠田(2工区)	109				●	●
	布川(1工区)	95	●	3	5,477	●	▲
	布川(2工区)	63	●	1	7,154	●	
	上手渡	55	●	2	2,517	●	▲
	下手渡	90	●	1	4,554	●	▲
保原	上保原(1工区)	173	●	1	46,219	●	
	上保原(2工区)	531				●	
	上保原(3工区)	420	●	1	20,426	●	
	上保原(4工区)	446				●	
	八幡台・村岡	77	●	2	3,334	●	▲
計		3,496		29	161,239		

C エリア

- [2次モニタリング・除染]
- ▲: 作業中
- : 終了

地域	地区	町内会・行政区数	1次モニタリング		2次モニタリング・除染
			終了	実施中	
伊達	伊達	18	16	2	
	箱崎	9	8		
	伏黒	7	7		
梁川	梁川	26	24	2	
	粟野	23	20	3	
	堰本	19	19		
	白根	12	12		●
	山舟生	12	12		

地域	地区	町内会・行政区数	1次モニタリング		2次モニタリング・除染
			終了	実施中	
梁川	富野	13	13		
	五十沢	13	13		▲
	東大枝	7	7		●
保原	大田	25	25		
	保原	34	34		
靈山	大石	11	11		
	泉原	1	1		
計		230	222	7	

問 市民生活部 放射能対策課 ☎575-1003

市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値(市測定、※印は国測定) (単位: マイクロシーベルト/時間)

測定地点	6/19	6/8	5/27
伊達総合支所 正面駐車場	0.25	0.25	0.26
梁川総合支所 正面銅像前	0.21	0.22	0.23
保原本庁舎 正面駐車場※	0.32	0.33	0.33
富成郵便局 県道路肩	0.45	0.52	0.48
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.78	0.81	0.83
富成グリーンタウン タウン内緑道	0.61	1.03	1.08
富成十区集会所 入口	0.85	0.81	0.89
靈山総合支所 駐車場	0.29	0.29	0.31
靈山パーキング 駐車場中央※	0.53	0.56	0.55
坂ノ上集会所 入口	0.54	0.58	0.58
八木平バス停留所 回転場中央	0.39	0.35	0.43
小国ふれあいセンター 駐車場※	0.39	0.39	0.38

測定地点	6/19	6/8	5/27
下小国中央集会所 入口※	0.49	0.48	0.47
岩代小国郵便局 国道路肩	0.31	0.34	0.36
末坂バス停留所 県道路肩	0.60	0.54	0.66
大木バス停留所 県道路肩	0.29	0.32	0.30
月舘総合支所 駐車場	0.28	0.28	0.29
国道399号 飯舘村境 国道路肩	0.69	0.74	0.81
月舘相葎公民館 県道路肩	0.74	0.84	0.82
掛田上組集会所 市道路肩	0.44	0.48	0.48
掛田日向前団地 集会所前	0.37	0.41	0.41
県道白石月舘線飯舘村境 県道路肩	1.76	1.86	2.08
大柳字栴達 市道路肩	0.70	0.74	0.70

問 市民生活部 環境防災課 ☎575-1228